

【参考①】の補足

「日本海における大規模地震に関する調査検討会」の津波高さは、概略計算値(下表の「潮位TP.0」の欄)です。

県が行う津波浸水想定においては、詳細地形(10mメッシュ程度)を用いて、潮位、堤防条件等を設定した詳細な津波浸水計算が必要です。

このため、【参考①】では、山形沿岸における朔望平均満潮位であるT. P. +0.6m~0.7mで補正した数値(下表の「潮位補正後」の欄)を掲載しております。

なお、各地域海岸におけるそれぞれの値は下表のとおりです。

地域海岸名		温海岩礁ゾーン		鶴岡岩礁ゾーン		庄内海浜南部ゾーン		庄内海浜北部ゾーン		遊佐岩礁ゾーン		飛島東ゾーン		飛島西ゾーン	
朔望平均満潮位※		0.7		0.7		0.62		0.62		0.7		0.7		0.7	
		潮位TP.0	潮位補正後	潮位TP.0	潮位補正後	潮位TP.0	潮位補正後	潮位TP.0	潮位補正後	潮位TP.0	潮位補正後	潮位TP.0	潮位補正後	潮位TP.0	潮位補正後
F28	基本ケース左側	9.2	9.9	9.1	9.8	6.5	7.1	7.9	8.5	8.8	9.5	7.4	8.1	10.0	10.7
	基本ケース右側	8.6	9.3	8.0	8.7	6.6	7.2	7.5	8.1	10.5	11.2	7.6	8.3	10.2	10.9
	基本ケース中央	8.6	9.3	8.3	9.0	7.4	8.0	7.5	8.1	10.2	10.9	6.9	7.6	9.6	10.3
	隣接ケースLRR	8.6	9.3	8.0	8.7	6.6	7.2	8.3	8.9	10.7	11.4	8.7	9.4	10.2	10.9
	隣接ケースLLR	9.3	10.0	8.8	9.5	7.5	8.1	7.7	8.3	9.9	10.6	9.7	10.4	11.9	12.6
F30	基本ケース左側	8.6	9.3	7.8	8.5	7.2	7.8	9.7	10.3	12.0	12.7	4.1	4.8	7.1	7.8
	基本ケース右側	13.0	13.7	10.4	11.1	7.7	8.3	8.3	8.9	10.7	11.4	6.1	6.8	4.2	4.9
	基本ケース中央	10.2	10.9	8.2	8.9	6.3	6.9	8.5	9.1	11.2	11.9	7.6	8.3	6.0	6.7
	隣接ケースLRR	13.0	13.7	10.4	11.1	7.6	8.2	8.3	8.9	10.6	11.3	4.3	5.0	4.0	4.7
	隣接ケースLLR	13.6	14.3	11.5	12.2	9.1	9.7	10.5	11.1	12.5	13.2	4.2	4.9	6.4	7.1
F34	基本ケース左側	7.9	8.6	8.5	9.2	8.7	9.3	5.2	5.8	3.9	4.6	2.4	3.1	3.8	4.5
	基本ケース右側	10.1	10.8	10.8	11.5	6.8	7.4	7.6	8.2	4.6	5.3	1.9	2.6	2.9	3.6
	基本ケース中央	9.5	10.2	7.3	8.0	7.7	8.3	6.6	7.2	3.9	4.6	1.9	2.6	3.3	4.0
	隣接ケースLRRR	10.1	10.8	11.7	12.4	10.3	10.9	5.3	5.9	4.9	5.6	1.9	2.6	2.9	3.6
	隣接ケースLRLR	10.1	10.8	11.7	12.4	10.3	10.9	5.2	5.8	5.1	5.8	2.0	2.7	2.9	3.6
	隣接ケースLLRR	7.9	8.6	8.5	9.2	8.7	9.3	5.2	5.8	4.0	4.7	2.4	3.1	3.8	4.5
	隣接ケースLLLLR	7.9	8.6	8.5	9.2	8.7	9.3	5.2	5.8	4.1	4.8	2.5	3.2	3.8	4.5

※1 朔望平均満潮位(さくぼうへいきんまんちょうい)
 朔(新月)および望(満月)の日から前2日後4日以内に観測された、各月の最高満潮面および最低干潮面を1年以上にわたって平均した高さの水位をそれぞれ、朔望平均満潮位および朔望平均干潮位といいます。

※2 T. P. (東京湾平均海面)
 日本海の平均水面はT.P.+0.2m程度です。(箱岩、2002) また、津波浸水シミュレーションは朔望平均満潮位条件で実施する必要があり、日本海沿岸の各自治体では概ねT.P.+0.5~0.6m程度を設定しています。